

使用前には必ず本説明書を読み、注意事項を守って使用して下さい。



## 動物用医薬品 “京都微研” ポールセーバーEC

鶏大腸菌症 (O78 全菌体破砕処理) (脂質アジュバント加) 不活化ワクチン

### 製法及び性状

本剤は、病原性鶏大腸菌を高圧破砕処理してホルマリンで不活化した抗原と脂質アジュバントとを混合したものである。

本剤は静置すると沈殿を認める場合があるが、振盪すれば黄褐色、不透明のやや粘稠性を帯びた均一な液状となり、pHは6.8~7.2である。

### 成分及び分量

1 バイアル30mL中				
超高压破砕処理大腸菌KAI-2株 (O78)	破砕処理前総菌数	1.5×10 <sup>12</sup>	個以上	
ホルマリン		0.09	mL以下	
塩化ジステアリアルジメチルアンモニウム溶液		20	mg	
コレステロール		45	mg	
水素添加大豆リン脂質		90	mg	
硫酸ゲンタマイシン		900	µg	力価
リン酸緩衝食塩液			残量	

### 効能又は効果

鶏の大腸菌症の発症の軽減

### 用法及び用量

0日齢以上100日齢以下の鶏に0.03mLを1回点眼接種する。

### 使用上の注意

#### 【一般的注意】

- (1) 本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方せん・指示により使用すること。
- (2) 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- (3) 本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。

#### 【使用者に対する注意】

作業時には防護メガネ、マスク、手袋等を着用し、本ワクチンが眼、鼻、口等に入らないように注意すること。入った場合には、洗眼、うがい等の適切な処置をとること。必要があれば本使用説明書を持参し、受傷について医師の診察を受けること。

### 本ワクチン成分の特徴

抗原	アジュバント			
	有無	種類		
微生物名	人獣共通感染症の当否	微生物の生・死	有無	種類
大腸菌	否	死	有	・塩化ジステアリアルジメチルアンモニウム溶液 ・コレステロール ・水素添加大豆リン脂質

本ワクチン株は、不活化されており感染性はない。

本ワクチンに関するお問い合わせは下記までお願いします。

株式会社 微生物化学研究所  
〒611-0041 京都府宇治市横島町24、16番地  
TEL: 0774-22-4518  
FAX: 0774-24-1407

### 【鶏に対する注意】

#### 1 制限事項

- (1) 本剤の投与前には健康状態について検査し、重篤な疾病を認めた場合は投与しないこと。
- (2) 本剤は他の点眼接種の生ワクチンと併用しないこと。
- (3) 鶏が、次のいずれかに該当すると認められる場合は、健康状態及び体質等を考慮し、投与の適否の判断を慎重に行うこと。
  - ・元気消失、発熱、呼吸器症状、下痢、重度の皮膚疾患など臨床異常が認められるもの
  - ・疾病の治療を継続中のもの又は治療後間がないもの
  - ・明らかな栄養障害があるもの
  - ・他の薬剤の投与、導入又は移動後間がないもの
- (4) 本剤の投与後は、温度及び湿度管理等に十分に注意し、数日間は安静に努め、移動等は避けること。

#### 2 副反応

副反応が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

#### 3 相互作用

本剤には他の薬剤（ワクチン）を加えて使用しないこと。

#### 4 適用上の注意

- (1) 点眼に用いる器具は点眼器を使用すること。
- (2) 鶏を保定する手指を消毒し、鶏の眼を雑菌汚染しないこと。
- (3) 点眼器の先端を鶏の眼に接触させないこと。
- (4) 1羽あたり1滴ずつ確実に点眼し、少なくとも1回瞬きするまで待ってから鶏を放すこと。

**【取扱い上の注意】**

- (1) 外観又は内容に異常を認めたものは使用しないこと。
- (2) 使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
- (3) 一度開封したワクチンは速やかに使用すること。使い残りのワクチンは雑菌の混入や効力低下のおそれがあるので、使用しないこと。
- (4) 開封時にアルミキャップの切断面で手指を切るおそれがあるので注意すること。
- (5) 本剤を点眼器に移し替える時は、雑菌混入や漏洩しないようにすること。
- (6) 使用時よく振り混ぜ均一とすること。使用中にもときどき振り混ぜること。
- (7) 液温の上昇によりワクチンの粘稠性が増すことがあるので、粘稠性が増した場合には常温程度（約20℃）に冷却すること。
- (8) ガラス瓶は破損するおそれがあるので強い衝撃を与えないこと。
- (9) 使用済みのワクチン容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。

**【保管上の注意】**

- (1) 小児の手の届かないところに保管すること。
- (2) 直射日光、加温又は凍結は本剤の品質に影響を与えるので、避けること。また、容器が破損するおそれがあるので凍結しないこと。

**貯法及び有効期間**

- 1 遮光して、2～10℃に保存すること。
- 2 有効期間は2年間（最終有効年月は外箱及びラベルに表示）

**包装**

1 バイアル 30mL (1,000羽分)

**製造販売元**

品名	規格	製造販売元 名称	製造 番号	品名	規格	製造販売元 名称	製造 番号
...	...	...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...	...	...

**【製造販売元】****製造販売元**

株式会社 **微生物化学研究所**  
 京都府宇治市横島町24、16番地  
 TEL: 0774-22-4518 FAX: 0774-24-1407

25111600B  
 AECV®